

## 共用部PSへ集合管を設置する場合、「掃除口(CO)付集合管」により、掃除口継手の設置を省略できます。

掃除口継手

集合管

掃除口付集合管

- 大きな開口部(φ74)で、立て管・枝管とも清掃・点検が可能です。
- 品確法の「維持管理対策等級3」への対応が容易となります。
- 非ねじ式のプラグを採用。ねじの摩耗による漏水の心配がありません。

プラグ詳細図

- ① 止水プラグ用 上部治具
- ② 止水プラグ用 下部治具
- ③ 止水プラグ用 ゴムパッキン
- ④ 根角ボルト(M10)
- ⑤ ちょうナット(M10)
- ⑥ ゴムパッキン
- ⑦ 平座金

①②④⑦: SUS304  
⑤: SS400  
③⑥: NBR

- 注意事項**
- ① 掃除口の正面には、メンテナンススペース(参考値:80mm以上)を確保してください。
  - ② 本体にプラグを取り付けた状態で、プラグを分解しないでください。プラグの部品が排水立て管内へ落下するおそれがあります。
  - ③ プラグは、掃除口本体の「廻り止め」に合わせて取り付けてください。
  - ④ ちょうナットは、ゴムパッキンを掃除口内面に密着させるようにしっかりと締め付けてください。締め付け後は、ボルトの先端が10～12mm出ていることを確認してください。
  - ⑤ プラグの使用時の許容圧力は0.1MPa(1.0kgf/cm<sup>2</sup>)以下です。満水試験等を実施する場合は、この許容圧力の範囲内でご使用ください。
  - ⑥ 万一、プラグが外れると危険ですので、満水試験中はプラグの前に立たないでください。

## 「フリープラン用集合管」により、フリープラン対応や間取り変更が容易になります。

2次横枝管に接続

4SL-CO-JL33R3P  
配管例(組み合わせパターンD)

メンテナンススペース

掃除口

廊下側

住戸側  
仮称:  
2次横枝管(80A)

仮称:  
1次横枝管(80A)

65A(雑排水)

50A(台所流し)

80A(便器)

器具横枝管の配管

リビング

台所

トイレ

防火区画貫通部

共用廊下

組合せパターン	①	②	③
A	便器	雑排水	台所流し
B	便器	台所流し	雑排水
C	雑排水	便器	台所流し
D	雑排水	台所流し	便器
E	台所流し	便器	雑排水
F	台所流し	雑排水	便器

QM継手										
	JL33	J03R3	JL30R3	JL33R3	CO-JL33P0	CO-JPL330	CO-J3R3P0	CO-JP3R30	CO-JR3PL3	CO-JL33R3P 注)4SLシリーズのみ